

ASCII

ASCII LOGIN UNIX NETWORKER BWEEKLY ファコン通信
MAGAZINE

Hamdson ANASIS MSXマガジン 親指君 Thirty

MSX ESterm IDOQ 日本語 Micro T_EX

ASCII CARD The CARD 2 ASCII NET

インフォミックス informix-TMSQL CANDY 3

インフォミックス informix-TMESQL/C

CHIPS



南青山アスキー上空より撮影

CONTENTS

ごあいさつ	1
役員・理事	2
ASCII PEOPLE	4
CORPORATE VISION	6~11
PUBLISHING DIVISION／出版局	12
PERSONAL SOFTWARE DIVISION／パーソナルソフトウェア本部	14
SYSTEM SOFTWARE DIVISION／システムソフトウェア事業部	16
SYSTEM PRODUCTS DIVISION／システム機器事業部	18
ELECTRONIC PUBLISHING DIVISION／電子出版局	20
SYSTEM ELECTRONICS DIVISION／システムエレクトロニクス事業推進部	22
RETAIL SALES DIVISION／営業本部	24
MARKETING DIVISION／マーケティング本部	26
CORPORATE DIVISION／スタッフ部門	26
DATA	28~33



代表取締役会長
郡司 明郎

創業以来12年、アスキーは社員一人ひとりのパワーを結集し、社員一丸となったチャレンジ精神を発揮して、今日を築いてきました。私たちの歩みは、パーソナルコンピュータを中心とするコンピュータ関連産業の健全な発展にも大きく寄与してきたプロセスである、と自負しております。しかしながら、斬界をとりまく環境はますます多様化し高度化しています。個々の力で開拓できる分野は狭まり、さらなるチームワークを必要としているのです。ここにこそ、当社の伝統であるチャレンジ精神の新しい発露がある…アスキーはスムーズな意思疎通のもとに、さらなるステップアップをめざします。



代表取締役社長
西 和彦

半導体と光ファイバを主役とする高度情報化の時代を迎えています。アスキーはまだ12年目という企業ですが、感受性と行動力と知恵とをもって高度情報化の時流をいち速く捉え、ひたむきに前進してまいりました。さまざまな方に助けていただきながら、出版に始まり、ソフトウェア開発、LSI設計、コミュニケーションシステムと事業をつぎつぎと発展させてくることができたのは、非常に時代に恵まれていると思わざるを得ません。これからも、アスキーのエッセンスである心の若さを大切にしながら、一人でもたくさんのお客さまに、少しでもいいパソコンとソフトウェアとネットワークと書籍雑誌を提供し続けていくことができる会社にしてまいりたいと決意しております。



代表取締役副社長
塚本 慶一郎

パソコンの性能は年々進歩していますが、使い勝手はまだ充分ではないようです。性能アップするパソコンを使いこなすための情報を出版し続け、いずれすべての人がそれを可能にするまで、アスキーは努力を続けます。皆がコンピュータの能力を借りて自らの可能性を拡大できるようにすること、さらにその結果として、新しい社会現象・文化を生み出し、それを楽しめるよう力を尽くすことが、当社の役回りだと思います。

ふつうの人が簡単に使えるメディアパソコン。それがアスキーの願いです。



常務取締役、パーソナルソフトウェア本部長
浜田 義史

マニュアルなしで、誰にでも簡単に使えるソフトウェアの開発を目指したい。



取締役
鈴木 豊

磐石な基礎に立つ揺るがぬベンチャーカンパニーであり続けたい。



取締役、システムソフトウェア事業部長
滝田 賢太郎

ユーザーに「ベスト・ソフトウェア・ソリューション」を提供し続ける中心的企業でありたい。



取締役、財務部長
藤木 正友

知恵・汗・心・そして挑戦の気持ちを忘れずに積極的経営を展開できる体力をつけたい。



取締役、経営管理室長
渡辺 洋

アスキーでの経験が個人の可能性を無限に広げるエッセンスでありたい。



理事、出版局 副局長
西村 弘紀

情報化社会におけるオピニオンリーダーとしての出版活動を行う会社でありたい。



理事、システム機器事業部 副技師長
石井 孝寿

ACEの会社；(A)積極的に吸収し、(C)創造精神で、(E)効率良く生かすーにしていきたい。



理事、パーソナルソフトウェア本部 研究開発部長
宮崎 孝

個人の知的生産性を向上させるソフトウェアを提供し続ける会社になりたい。



理事、ログイン編集部 MSX編集部 編集長
小島 文隆

専門書の固い出版社からメジャー指向の出版社に変えていきたい。



取締役、出版局長

藤井 章生

志は高く、生活(くらし)も高い会社に育てていきたい；一生懸命に、そして着実に。



取締役、営業本部長

吉村 昇

パーソナルソフトウェアを家庭に浸透させるリーダーシップを執っていきたい。



取締役、システム機器事業部長

高橋 健一

先を見つめつつ、常にフレキシブルでありたい。



理事、システム機器事業部 技師長

山下 良蔵

小さくてもパワフル、プロフェッショナルな型にはまらない会社でありたい。



理事、技術企画室長

深瀬 弘恭

社会のニーズの多様化に素早く対応出来るダイナミズムのある会社になりたい。



理事、出版局 ネットワーカー編集長

宮崎 秀規

優れた技術力と先見性に立脚しつつ、誠実で熱意ある製品作りを忘れない会社になりたい。



理事、出版局 出版技術部 部門長

井芹 昌信

ヒトとパーソナルコンピュータとの付き合い方を提案していきたい。



理事、システムソフトウェア事業部|技術開発部長

三浦 雅孝

コンピュータとコミュニケーションによる新しい「生活スタイル」を作り出したい。



ASCII PEOPLE



1988年4月1日撮影 アークヒルズ・サントリーホールにて



ソフトウェアのアスキー あらゆるソフトウェアの可能性を追求します

雑誌月刊「ASCII」の出版で始まったアスキー。これまでの11年間はパーソナルコンピュータに関わるあらゆるソフトウェアの追求がその一番の事業方針でした。紙の上のソフトウェアである出版事業の次に、パソコンのソフトウェアであるアプリケーション事業、次にはパーソナルコンピュータの中心的なソフトウェアであるシステムソフトウェア事業を展開し、アナログとデジタルのネットワークとパーソナルコンピュータを結びつけるパソコン通信事業、また、いろいろな機器をソフトウェアで結びつけ、新しい価値を創造するシステムエレクトロニクス事業やシステム機器事業など、積極的に多分野にわたり、可能性へのチャレンジを続けてきました。

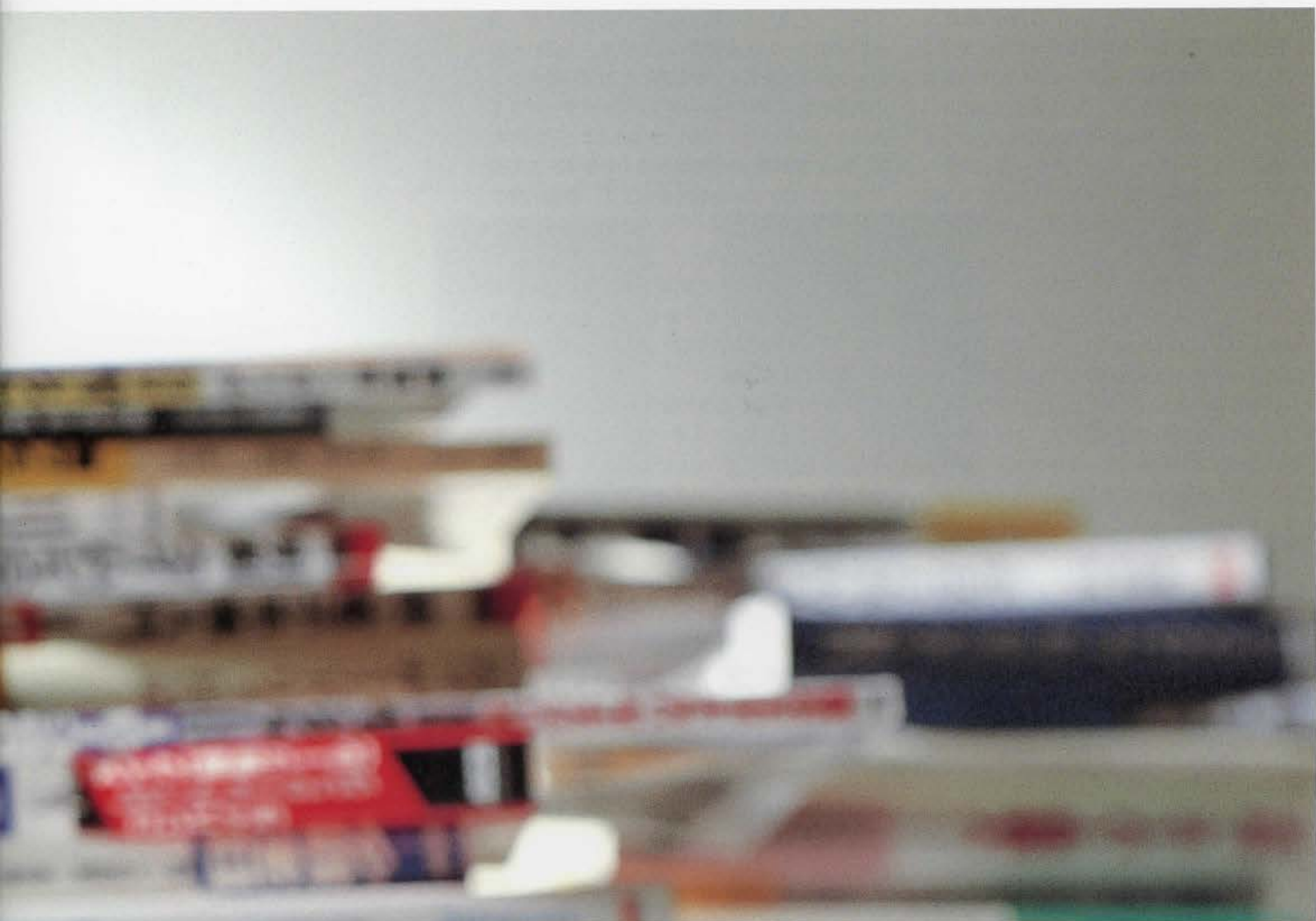
これらの6つの異なった事業に、アスキーとし

て、共通に持っている方針は、おののの事業がパーソナルコンピュータをテーマにしているということです。パーソナルコンピュータの進化と社会化と共に、アスキーはそのあらゆる可能性を追求してゆきたいと決意しています。

アスキーの6つの事業は、いずれもその中心となるコンセプトがソフトウェアです。つまり、情報を事業分野ごとに異なった「メディア」にのせて「商品」を創り上げてきました。

紙、磁気、シリコン、ネットワーク、システムなど、それぞれの特長を生かしたソフトウェアのことです。

ソフトウェアが縦糸ならば、パーソナルコンピュータは横糸、これらが織り成す世界をアスキーはこれからも広げてゆきたいと考えています。



1977年「ASCII」創刊号(左)と1988年6月号(右)



アスキーは現在、日本全国の5500軒の書店から、毎月250万冊の雑誌と書籍をお客さまにお届けしています。提携会社であるソフトウェアの流通会社ソフトウイングを通して、全国2000軒のパソコン・ショップから100種類以上のソフトウェアをお届けしています。またアスキーのシステムソフトウェアや半導体は、日米の代表的なコンピュータ会社、通信機会社80社に納入させていただいています。

アスキーは1985年に、日本で最初のパソコン通信サービス「アスキーネット」を始めました。パーソナルコンピュータにソフトウェアを再生するソフトプレーヤー以上の世界を追求してゆくと、テレビや電話のようにパソコンもネットワークにつながっていなければなりません。ネットワーク化されたパソコンを通して、世界中の人々が自由にコミュニケーションすることができる時代がやってきました。

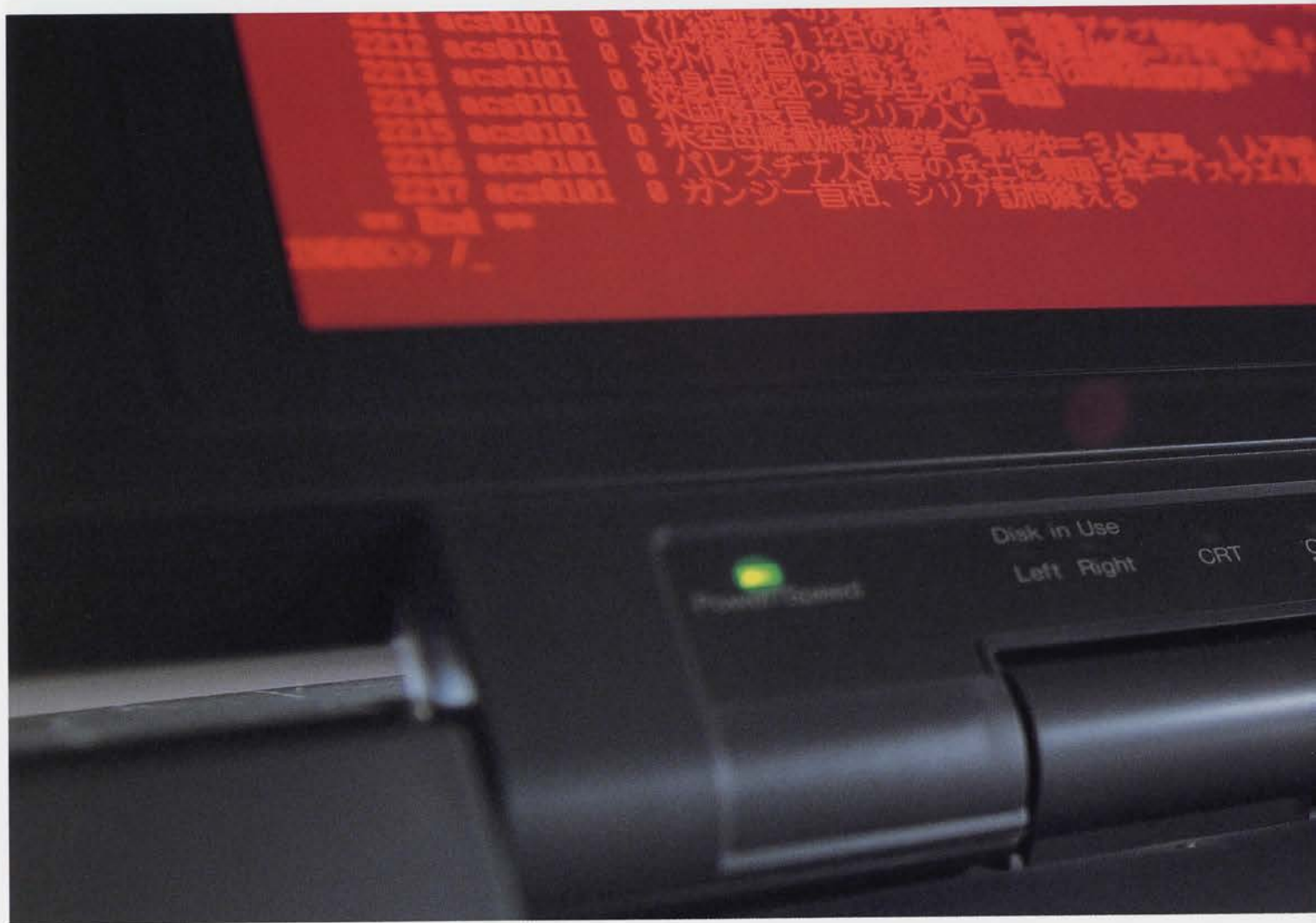
アスキーはこのパソコン通信のネットワークに

クレジットカードのネットワークを連動させ、進んだ付加サービスを提供しています。20000人のパーソナルコンピュータを熱心にお使いのネットのお客さまに、アスキーのネットワークサービスを直接オンラインでご利用いただけます。1989年の夏、日本で最初の通信衛星が生まれます。この通信衛星JC-SATの中継器を利用して、衛星の持つ同報通信機能を新しいデータ放送的なメディアに育ててゆきたいと考えています。

雑誌月刊「ASCII」に執筆された著者はこの11年間でのべ6000人になります。アスキーをこれまで育てていただいた方々のネットワークがアスキーの一番大切な宝です。

このように読者や著者の皆さまのさまざまなネットワークを通して、アスキーは本当に売れている商品、本当に喜んでいただける商品を創り続けてゆきます。そのために、アスキーはつねにお客さまに一番近い所にいたいと考えています。

アスキーのネットワーク お客さまに一番近いところにいつもいたい

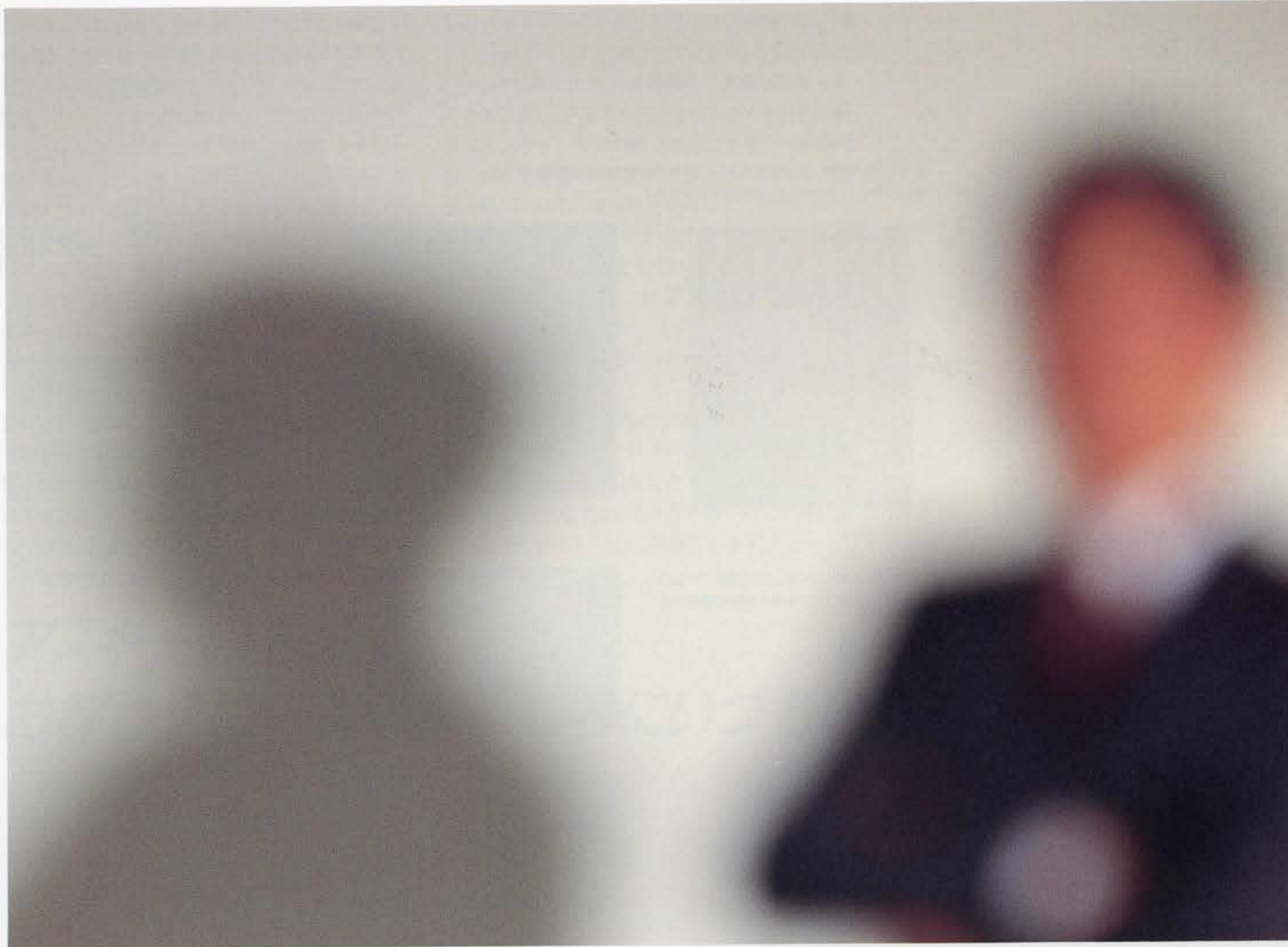


ネットワークづくりに欠かせない、アスキーのパソコン通信用ソフトウェア。
楽しいコミュニケーションの世界が広がります。



88年5月より開始した「ASCII CARD」は、日本信販、VISAとのジョイントカードで、役に立つ商品と新鮮な情報をお届けします。





スーパーマイクロエレクトロニクス これからの時代の中心となる 「夢」と「希望」と「若さ」とを結晶させてゆきたい

1946年に初めて本格的なコンピュータが米国に生まれました。当時の機械は100畳以上もある巨大な鉄と真空管の塊でした。それから42年後の今日、パーソナルコンピュータは机の上にのせることができるようになり、その心臓部分は小さな切手のサイズにまでなっていました。半導体の技術が進んで、大きなコンピュータを小さなチップの上に集積できるようになったのです。

多くの夢物語としてしか思われていなかった、ポータブル電話、テレビ電話、音声認識、文字認識などの限りなく人間に近い機械としてのコンピュータが、続々と実現されています。

アスキーは、この夢を実現させる手段として、パーソナルコンピュータとネットワークの基盤技術と応用技術の開発に重点目標を定めて、進んで

ゆきます。20世紀の最後のこの12年間は、今までのエレクトロニクスがアナログからデジタルに移行する重要な時期です。新しい素材、素子の出現とそれを結ぶソフトウェアによって生まれるこのデジタルのエレクトロニクスのことを、スーパーマイクロエレクトロニクスと呼んでいいのではないのでしょうか。

リスクの高い対象、目標に向かって、失敗を恐れずに、会社の持てる力を発揮してチャレンジを続けること。時代の流れに対して、流行に誰よりも敏感で、新しい流行を創ってゆくこと。パーソナルコンピューター筋でやってきたこの11年間に生かした活動を今年も進めてまいります。

ASCII

ASCII CORPORATION



〔JEGACHIP SET V6367X, M6226Y〕

IBM PC/ATのグラフィックアダプタ、EGAの日本語化を目的に当社が開発したLSIシリーズです。日本語版PC/ATとしての新しい流れ、AX仕様の標準LSIとしても採用されています。

〔V9938, S1985, V99C37〕

MSX用LSIシリーズ。MSX2に必要とするシステム機能、キャプテンやNAPLPSなどニューメディアに対応するビデオ機能、本格的なビデオテックスに対応するプロセッサなどで構成されています。



PUBLISHING DIVISION

コンピュータテクノロジーをあらゆる視点からとらえ、その理論、活用法を広く一般に普及させていくのが、アスキーの出版活動です。月刊アスキー、ログイン、MSXマガジン、ネットワーク、UNIXマガジン、ファミコン通信等の雑誌から、コンピュータ関連書籍、ビジネス書、各種ムック、テクニカルマニュアルにいたるまで、幅広い分野をカバーしています。高度の技術力、優れた情報収集力をベースにしたこれらの出版物は、信頼性と先見性と分かりやすさをそなえていずれも高く評価され、多くの読者から圧倒的な支持を得ています。



20部門からなるアスキー出版局のなかでもひとときわ活気溢れるログイン編集部。平均年齢26歳。「ログイン」を毎月25万部、「ファミコン通信」毎月75万部、2誌で月に月間200万部を発行、圧倒的多数読者のご支持をいただいています。

月刊ASCIIをはじめとする雑誌、コンピュータ関連書籍、ビジネス一般書、そしてテクニカルマニュアルまで、信頼性の高い情報提供をモットーとするアスキーの出版事業。

●**アスキー編集部** アスキー創立以来、コンピュータ関連のさまざまな情報を発信している月刊誌ASCIIを編集。内外の技術動向を鋭く分析し、コンピュータテクノロジーの現状と展望を的確に伝える誌面づくりは、広くパソコン・ユーザーの間で定評があります。

●**ログイン編集部** パソコンのエンターテインメント性を徹底的に追求する雑誌ログイン。技術指向ではない、コンピュータの楽しみ方を提案し、誌面は面白いといばいいです。大人気の隔週刊誌ファミコン通信の編集もこの部で行っています。

●**MSXマガジン編集部** アスキーが提唱したMSXホームパソコンの専門誌、MSXマガジンを編集。ホームユースとしてのMSXパソコンの楽しさを紹介します。

●**UNIXマガジン編集部** 16,32ビットコンピュータの標準的なOSとして注目されているUNIXの専門誌。市場と内外の技術の動向を多角的にとらえた、充実した記事内容です。

●**ネットワーク編集部** パソコン通信の楽しさと可能性を伝える、月刊誌ネットワークマガジンを編集。国内外にはりめぐらした取材網により、幅広い誌面内容を実現しています。

●**第一書籍編集部** 数あるパソコン関連出版物の中で、圧倒的な支持を得ているのがこの編集部制

作の書籍です。高度の技術力、優れた企画力を基盤に、初心者から専門家まで、幅広い読者層にアピールできる、質の高い出版活動を行っています。

●**第三書籍編集部** OEM書籍・社内報・販売促進のための出版、ツールの制作などを行う部門です。ユーザーの立場にたったユニークなアイデアを、メーカーの皆様に提案しています。

●**アспект編集部** アスキーの子会社ビジネスアスキーで発行する単行本、およびアスキー・ムックの編集が主な業務です。情報社会におけるビジネスの知的ノウハウを提供しています。

●**エムアイエー編集部** コンピュータ技術関連の出版に加え、一般書、コミック、ゲームブック等、異色の出版をする編集部です。その編集方針は、あくまでユーザーフレンドリーに徹したものを目指しています。

●**テクライト** OEMを中心としたマニュアル制作部門です。OSからプログラミング言語、アプリケーションまで、その完成度の高さは、多くのメーカーから絶大な信頼を得ています。CAIコースウェアの制作やオンラインマニュアルの開発も行っています。

●**コンピュータ教育編集部** 大学、専門学校のコンピュータ関係学科用教科書を編集します。コンピュータ支援教育関連書も刊行。

●**EPLetter編集部** 出版/編集業務電子化についての技術情報を伝えるニュースレター、EPnewsを月2回刊行しています。

●**出版技術部** ニュースメディア出版、オンライン編集やコンピュータレイアウト等、電子出版の先行的研究を行っています。

●**出版業務部** 出版局製品の発注管理業務を担当。

●**出版宣伝部** 出版局発行の出版物・ソフトの宣伝・パブリシティ活動を行います。

●**出版営業部** 雑誌、書籍、ソフトウェアを全国書店を通じてお届けしています。全国の読者がいつでもアスキーの雑誌、書籍をお買い求めになれるよう、徹底した流通管理を行っています。雑誌営業部、書籍営業部、ビジネスアスキー営業部の3つの部から成り立っています。

●**広告営業部** 雑誌、書籍、ソフトウェア、ネットワークなどのメディアにおける広告営業と企画を担当しています。メーカーやソフトハウスとの大切なパイプ役も果たしています。

●**局長室** 出版局長の秘書業務、予算編成と管理、出版局内の諸業務のチェックなどを行います。

●**新雑誌準備室** 時代の要望に即した雑誌のあり方や、そのマーケットビリティを見つめつつ新雑誌刊行を準備中。

ASCII
ASCII CORPORATION

ASCII
ASCII CORPORATION

PERSONAL SOFTWARE DIVISION

だれもが抵抗なく使えて、人間の思想、発想や感性を高め、手助けをするソフトウェア。とくに個人が仕事や趣味の世界で使用するソフトウェア製品には、より個性的で柔軟性、簡易性などを兼ね備えていることが要求されます。アスキーでは、このような個人ユーザーの方々のさまざまなニーズにお応えするために、ビジネスアプリケーションやグラフィックスソフトから、ゲームソフト、MSX用ソフトに至るまで、幅広いジャンルにわたるソフトウェア商品群を提供。ひとりでも多くの方々に、パソコンを身近な道具として活用していただけるよう、パーソナルソフトウェア本部では、これからもよりヒューマンライクなソフトウェアを開発していきます。

●アプリケーション開発部門 ここ数年来、急激にマーケットの拡がりをみせるパーソナルソフトウェア市場。ハードウェアの機能向上に伴い、より使いやすい製品の開発が望まれています。このようなニーズに対応するために、ビジネスアプリケーション・ソフトウェア、各種ユーティリティソフトウェア、グラフィック関連ソフトウェア、MSX用ビジネスソフト等の製品化に取り組んでいます。ワープロソフト、スプレッドシート、データベースを核とした、ローエンドからハイエンドの製品群、さらにグラフィック関連のソフトを加えた組み合わせ。あるいは、用途・目的に応じて自由に使い分けられるよう、柔軟性のあるソフトウェア体系を実現しています。

また、かな漢字変換システム等、他のソフトウェアハウスとの共同開発、OEMセールスも積極的に行っています。

今後も、使いやすさ、機能、価格ともにバランスのとれた製品を開発していくとともに、ソフトウェア、マニュアル等の品質管理を徹底し、よりご満足いただける製品を提供していきます。

●ホームソフトウェア開発部門 MSX用ソフトウェアや在来パソコン用ゲームソフトウェア、オリジナルソフトウェア等の企画・開発と営業活動、さらにサードパーティーとの著作権交渉等を行っています。

とくに、エンターテインメント性の最も高いゲームソフトは、作り手の感性が問われます。ひとりでも多くの方々に、パソコンの楽しさ、おもしろさを体験していただけるよう、斬新なアイデア

を次々と打ち出し、いち早く製品化しています。一方、海外著作権交渉とその商品化、新しい技術の評価のほか、ホームソフトウェアの全般的なマーケットリサーチも実施。ユーザーの方々の注視、ニーズを的確に捉え、製品に反映するために、常に内外の動向を鋭くキャッチする能力とセンスには、定評をいただいています。

アスキーのパーソナルソフトウェア製品は、ユーザーの方々の視点に立ち「より使いやすく」「コストパフォーマンスの優れた」というポリシーを基本にしています。



パーソナルソフトウェア本部はその名の示すとおり、「個人」のお客様を対象としています。オフィスワークを支援するデータベースなどのビジネスソフトウェアや、子供から大人まで十分に楽しめるエンターテインメント性の高いゲームソフトなど、バラエティに富んだソフトウェア開発に取り組んでいます。



SYSTEM SOFTWARE DIVISION

VLSIの急速な技術革新は、メインフレームなみの高性能・高機能なMPUとより安価でハイパフォーマンスなコンピュータの出現をもたらしています。これにともない、アプリケーションやシステムの高度化、また本格的なオープン・システム・アーキテクチャによる分散処理化が切に望まれています。システムソフトウェア事業部では、こうした要請に総合的に応えるため、UNIXをはじめとしたOS、グラフィックス、ネットワーク、データベースなどの多彩なシステムソフトウェア領域をターゲットとし、優れた開発環境の下、トータルなオープンシステムソリューションおよび標準化の研究・開発を進めています。日本を代表してアスキーがX / OPENIに初めて参加したのも、こうした考えによるものです。なお、業界の先進企業としての役割を全うすべく、世界中から先端技術・市場動向の情報も収集し、把握・分析する活動も展開。現在から将来にわたるコンピュータテクノロジーの可能性を見極め、ユーザーにとって真に利用価値の高いソフトウェアとプラットフォームを追求しています。

●**リレーショナルデータベース** 1984年にアスキーは米国インフォミックスソフトウェア社と提携。以来、米国UNIX市場でNo. 1のシェアを誇るリレーショナルデータベース「informix」を国内市場に紹介しています。informix はパソコンからメインフレームまで幅広いレンジをカバーする、データマネジメントのための開発ツール。すでにUNIXの標準的なファイルアクセス方式であるC-ISAMを提供、informix-SQL、informix-ESQL/C、informix Datasheet ADD-IN、informix-4GL、informix-NET、informix-TURBO、など主要 Informix プロダクトラインナップを完了。今後さらにinformix-RDS、informix/IDなど、リレーショナルデータベースの主流となる優れた製品を充実し続けてまいります。

●**ネットワークシステム** パーソナルコンピュータを中心としたLAN構築のための商品群「ANASIS」、米国サン・マイクロシステムズ社開発のNFSをベースにしたネットワークソフトウェア「PC-NFS」、さらに通信用マルチタスクOS「AMTOS」など、ローカルエリアからワイドエリアまでユーザー・ニーズに対応するネットワーク環境構築のためのトータルなシステムを提供。アスキーならではの、ハードウェアメーカーに依存しない独立した立場で、ネットワーク・アーキテクチャの標準化を推進しています。



システムソフトウェア事業部では、コンピュータ、ソフトウェアの先行的研究を推進する上で、アスキー自身を常にコンピュータ環境の最先端に位置づけることが欠かせないと考えています。

(写真/アスキーマシナールーム)

●**グラフィックスソフトウェア** 米国GSS社との提携のもと、グラフィックス・インターフェイスの標準化を図るソフトウェアX/386(Xwindow on UNIX/386SystemV)、CGI、さらに次世代グラフィックス・コントローラを使用したファームウェアDGISを提供。これらX/386、CGI、DGISの提供、さらにはX-window開発環境(ツール)や基本的アプリケーション群の提供によって、window環境を整備し標準化を進めることを目指しています。またアプリケーションとしてもDTP(デスクトップパブリッシング)を実現する日本語Micro TeXなど、グラフィックス分野をリードする製品の開発を進めています。

●**オペレーティングシステム** UNIXの本格的普及期を迎えた今、日本でいち早くUNIXをサポートしたアスキーは、その実績と蓄積したノウハウによりユーザーのさまざまなニーズに応えています。特にシフトJISコードを開発した漢字化技術は、各分野で高い評価を獲得。それをもとにASCII UX/4.3 bsd (UNIX4.3 bsd)をはじめ、Cクロスコンパイラ、データベースなどUNIXの機能をフルに活かす各種開発ツールからアプリケーションまで、幅広く製品を提供しています。また、UNIXのほかに、OS/2、マルチプロセッサシステムOS、高度化・大規模化するアプリケーションソフトウェアなどに関する研究開発を進めています。

●**システムインテグレーション** データ放送やメディカル・インフォメーション・システム、未来OA環境など大手企業との共同開発プロジェクトを積極的に推進しています。またワープロ専用機としてベストセラーとなっている「OASYS」の機能をPC9801上で実現する「OAshift/98」、「OA-word/98」なども開発。システムの統合によって、より使いやすく、より効率のよい製品の開発・提供をめざすのもこの部門の得意とする分野です。

MS-DOS、UNIX 間の統合環境を実現するコンピュータLANシステム「ANASIS」の商品群。

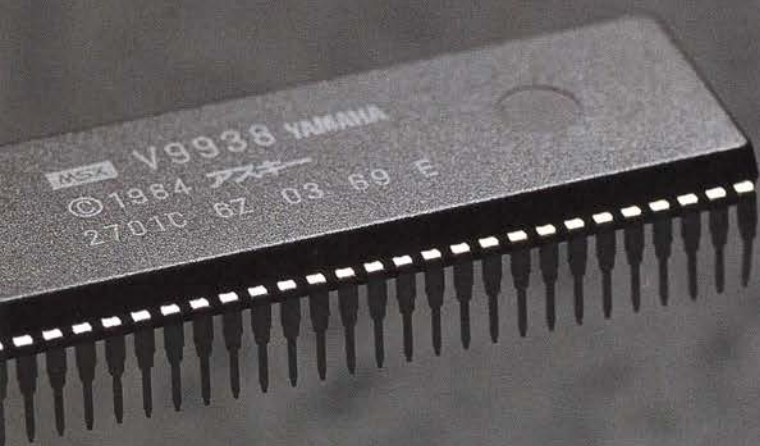


日本電気のパーソナルコンピュータPC-9801シリーズ上で富士通OASYSワープロを実現し、かつ親指シフト入力を実現した「親指君」。



SQLベースの本格的なリレーショナルデータベース「informix」のプロダクトファミリー。効率的なデータマネジメントのためのさまざまな開発ツールを提供しています。





SYSTEM PRODUCTS DIVISION

技術革新による、社会・経済全般にわたる大きな変革の波。

この変革の中でも、とりわけ影響力の大きいのがコンピュータと通信であり、その中枢部分にあるのが、LSIとソフトウェアです。急速な技術革新を社会にとって真に有意義なものにするためには、この両者のよりよい融合がきわめて大切な要素になっているといっても過言ではないでしょう。システム機器事業部は、今日までに築きあげたソフトウェアの開発技術やその利用技術を知識ベースとして、ソフトウェア側からの視点でLSI開発やシステム設計を進めています。絶え間なく変化する技術の流れを見極め、製品化に結び付けるため、内外の開発会社とも積極的に提携し、他に類を見ない画期的な製品づくりを目指しています。

●LSI 1984年よりASSP (Application Specific Standard Product)として開発を開始。現在、自社開発製品の他に、日本総代理店として、米国チップス・アンド・テクノロジー社 (Chips and Technologies, Inc.) 製品を、また販売特約店として、テキサス・インスツルメンツ社製品及び、ブイ・エム・テクノロジー社製品を、システムソフトウェアや、ノウハウとともにお届けしています。

●MSX ホームパーソナルコンピュータの標準化をめざすMSX。現在、単一仕様で国内最大の販売台数を記録し、ソフトウェアも各種アイテムが製品化されています。今後もMSX仕様のバージョンアップ、基本ソフトの開発・供給、ハードメーカーやソフトハウスへのテクニカル・サポートを強化するとともに、将来のホームパーソナルコンピュータにむけての研究・開発を促進していきます。

●コミュニケーション 郵政省推奨通信プロトコルJUST-PC、300、1200のMODEMソフトウェアをはじめPC-FAX、PCボイスメールシステム等パソコンとコミュニケーションにかかわるシステムを開発しています。またISDNをみつめ、デジタル回線システム等の開発や回線エミュレータ等の開発環境も提供しています。

●その他のプロジェクト CD-ROM、データ放送、自動車ナビゲーションシステム等、これから発展の予想されるシステムについて各種協議会、プロジェクトに参加。標準仕様の決定に参加しソフトウェア、ハードウェアの開発も進めています。

AT/386CHIP SET (82C301-306)

米国チップス社製80386用チップセット。32ビット仕様のIBM PC/ATを簡単に実現できます。386用WINDOWS (32ビットCPUをフルに活用) にも対応しており、さらに優れた性能を発揮します。



CS8221 NEAT (82C211, 212, 215, 206)

IBM PC/ATを構築するために必要な80826用主要回路を僅か3チップに集約。周辺用コントローラ「82C206」との組み合わせにより、80386を採用しているPC/ATを上回る高性能を発揮します。



VM8600S

世界初の新世代32ビット・バーチャル・マイクロプロセッサ。既存のCPUのマクロ命令を命令体系の一部として組み込み、従来のソフトウェア資産を容易に有効活用できます。さらに、286リアル・アドレス・モードとの互換性を持っており、従来のものより高速動作が可能になりました。



プログラミング学習から、本格的なプログラム開発まで、MSXの開発環境を強力にバックアップするツール群。

1983年アスキーが提唱し国内外23社に採用された8ビットパソコン世界統一仕様MSX。
(写真/左から松下電器「AIF」MSX2、ソニー「Hit Bit」MSX2、オランダ・フィリップス社製MSX。)

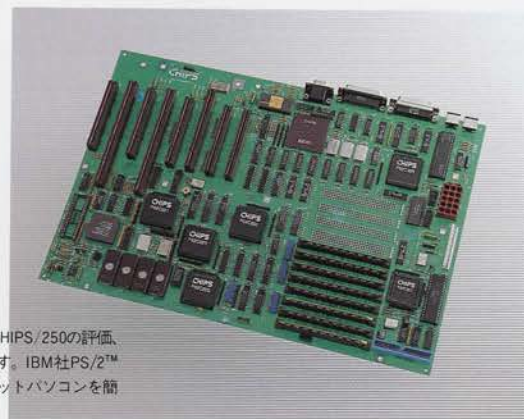
SDB 9801

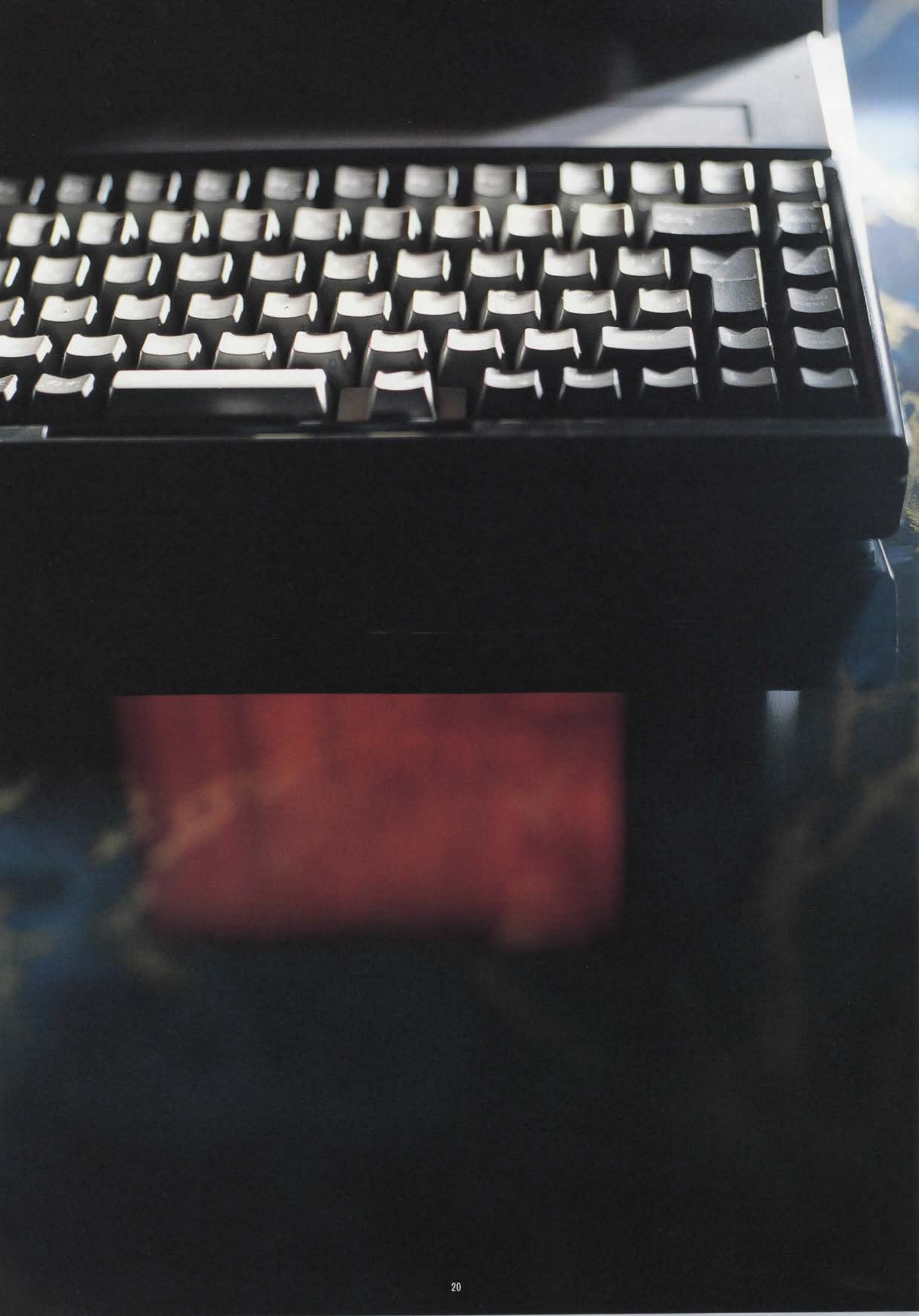
米国テキサス・インスツルメンツ社が開発した新世代グラフィックス・システム・プロセッサTMS34010を日本電気PC-9801シリーズ上で評価、開発するための支援ボードです。



CHIPS/250評価用ボード

米国チップス社製LSIチップセット、CHIPS/250の評価、設計を容易にするための評価ボードです。IBM社PS/2™モデル50と同等以上の機能を持つ16ビットパソコンを簡単に実現できます。





ELECTRONIC PUBLISHING DIVISION

コンピュータと通信技術が結びついた、新しいコミュニケーション手段「パソコン通信」。アスキーでは、このパソコン通信のメディアとしての価値にいち早く着目して、1985年5月よりASCII NETの実験に取り組み、1987年3月、実用サービスとして本格稼働を開始しました。電子出版局は、このASCII NETに代表される電子出版関連のさまざまな製品を開発し、電子メディアをより日常に密着した情報交換の場として機能させ、パーソナルコンピュータの可能性を開発していきます。

●ネット営業推進部 ASCII NETの運営、カスタマーサービスと営業活動が主な業務です。会員データベースの維持、会員募集、会員権の販売の他、ASCII NETに関する質問のサポートを行っています。

●番組制作部 メディアの価値を決定づけるのは、提供する情報の中身です。より充実したネットワークサービスを提供するために、番組制作部は、ASCII NETをはじめとする、電子メディア上の編集業務、その他サポート全般を行っています。ASCII NETの番組編成やメニューの作成・維持・更新、他ネットワークとの情報交換、企業単位の電子掲示板「BBS」等の運営が主な業務です。

現在、ASCII NETは3種類。それぞれのネットワークで個性豊かな番組制作に取り組んでいます。

〔アスキーネットACS〕(Advanced Communication Service)1987年3月より運用を開始したACSのメインコンセプトは「知的生産性」、「発展性」。パソコン通信をひとつの道具として捉え、情報収集や新しい人脈づくりの場を提供するサービスを行っています。

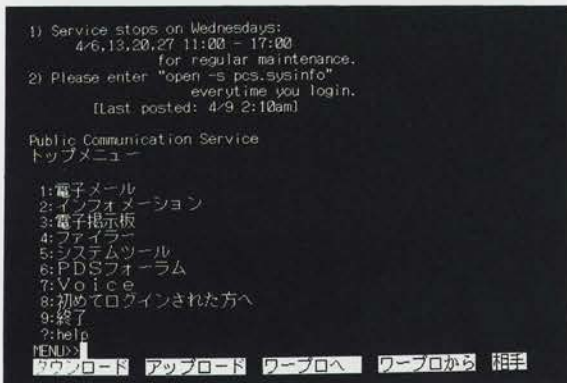
〔アスキーネットPCS〕(Public Communication Service)約2年間にわたる運用実験を経て1987年6月より運用を開始。豊富なPDSライブラリと多

彩なSIGを誇り、わが国を代表するネットワークのひとつとして注目を集めています。

〔アスキーネットMSX〕(MSX NET)MSXユーザーを対象としたネットワーク。アスキー初の有料ネットワークとして、1986年12月に運用を開始し、1987年度は通信教育を行っているNHK学園とのジョイント企画等、積極的な活動を展開しています。



情報人間のためのネットワーク〔ACS〕



パソコンホビイストのためのネットワーク〔PCS〕



MSXユーザーのためのネットワーク〔MSX〕



新しいコミュニケーション空間の創造をめざしてはじまったアスキーのネットワーク事業。より付加価値の高いサービスの提供とビジネスとしての広がりを追求しています。



SYSTEM ELECTRONICS DIVISION

社会経済の著しい成長をもたらした情報化の進展は、情報社会における地域格差の是正などの要請によって、コンピュータをとりまくシステム商品に高度化、多様化、流通化を要求するようになってきました。特にこの要求にこたえるソフトウェアはキーテクノロジーとしてますます重要な役割をもとめられております。この状況の下、先端エレクトロニクス技術を応用したコンピュータとコミュニケーション関連商品を、使い易いソフトウェアと共に提供する為の企画、販売を行っています。更に、通信衛星を生かしたネットワークのために商品の企画、販売も行います。

●システム開発部 文字認識・特徴抽出・画像圧縮等の技術を応用した画像処理関連システムの開発を行っています。またVSAT・データ放送(衛星、CATV)・LAN・画像伝送等の高度な通信技術により、パーソナル間、ターミナル間のヒューマンインターフェイスの確立を目的とした、通信関連システムの開発を重点的に行っております。

●エレクトロニクス開発部 高周波領域におけるアナログ回路、デジタル回路の特殊技術を駆使して、ソフトウェア化・LSI化を行い、システム商品の構成に必要な商品企画と開発を行っています。また、パーソナルユース・ホームビジネスの情報化を進展させるための情報通信機器に関する企画・開発の受託を海外も含めて、積極的に展開していきます。

●AOA ASCII OF AMERICAは、米国テキサス州ダラスに事務所を置き、情報・通信分野で最先端をいく、米国・ヨーロッパ諸国へのセールスと情報収集活動を行い、本社の各部門に迅速に対応します。さらに、コンピュータ、コミュニケーション、エレクトロニクス、ソフトウェア等に関連するマーチャンダイジングを強力に推進していきます。



おっかけTel
離席先の電話機に自分のID番号を登録することにより、自分の席にかかった電話が自動的におっかけTel(転送)します。

AOA(ASCII Of America)
ASCII Of Americaはコンピュータ・コミュニケーションに関連するメーカー、ディーラー、ストアなど多数の企業が一堂に集まったインフォーマートビル内にあります。

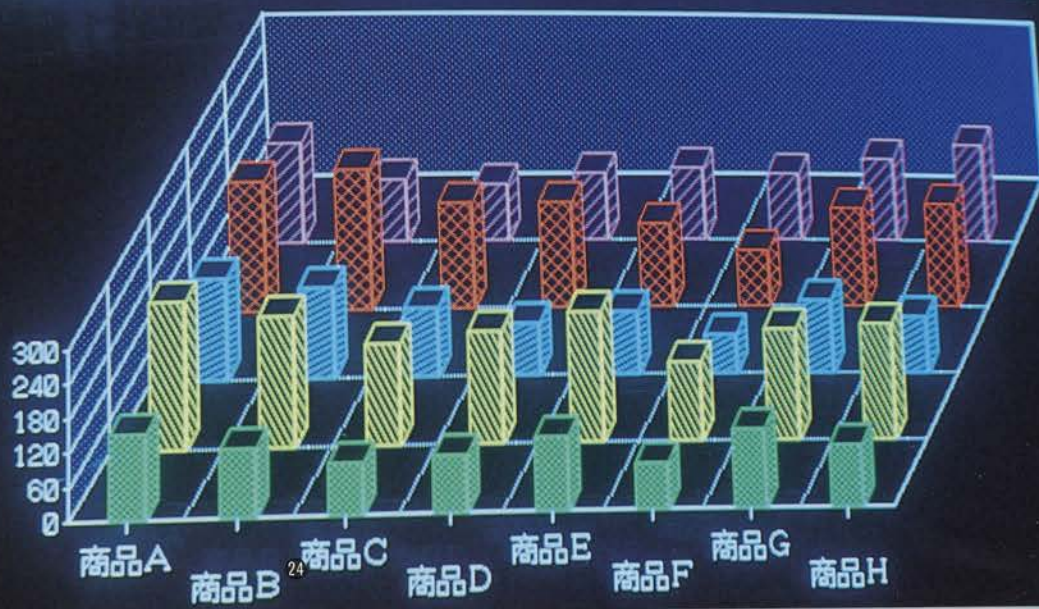


CD-ROM
CD-ROMとパーソナルコンピュータを使用して電子化されたカタログ(イメージデータとテキストデータ)を表示、検索することができます。このシステムによって検索時間を短縮し、見積、発注のミスを大幅に減少できます。



支店/商品別売上グラフ

営業1グループ 営業2グループ 営業3グループ
営業4グループ 営業5グループ



RETAIL SALES DIVISION

出版物、フロッピー、LSIチップ、ネットワーク等のさまざまなメディアを通じて提供しているアスキーのソフトウェア商品。その販売活動をトータルに担い、お客さまとの接点となっているのが営業本部です。すべての商品を確実にユーザーにお届けできる、万全のサポート体制を整備しています。テレフォン・サポート、ユーザー・サポート、取次店や販売店へのバックアップ、さらには販売促進のための各種プランニングや講習会の実施、企業ユーザーへのコンサルテーションなど、活動範囲はきわめて多岐にわたっています。ニーズの多様により、ますますきめ細かな販売サポートが必要とされる中、アスキー営業本部では、新しいユーザー・ニーズにもすばやく対応できるよう、常に市場動向の収集・把握に努め、幅広い分野で先進的なマーケティング活動を推進していきます。

●西日本営業部 アスキーの西日本の営業活動の拠点。名古屋以西の流通業やソフトウェア販売店等へ、アスキーソフトウェア製品の営業・企画・サポートを行っています。

●東日本営業部 東日本地域および全国ネットの流通業へのソフトウェア営業・企画やソフトウェア販売店への営業とサポート業務を受け持ち、また新規販売チャンネルも積極的に開拓しています。さらに、よりユーザー・ニーズに合致した商品づくりをめざすために、販売店を通じて寄せられるお客さまの期待の声や要望を社内にフィードバックし、商品開発をリードする役割を担っています。

〔販売促進活動〕ソフトウェア営業全体にかかわる販売促進活動のほか、パソコンショッ等へのサポートやビジネスソフトの講習会の運営、催事のサポートなども行っています。

〔テレフォン・インフォメーション〕ユーザーからの電話による各種問い合わせをお受けしたり、電話を通じて流通販売店等へ当社ソフトウェア商品の技術情報を提供しています。

〔ユーザー・サポート〕ユーザーの方々に安心してソフトをお使いいただくために、操作上の問題点やメディア等が破損したときなどに、電話または手紙で対応させていただく窓口となっています。

●直販部 直接販売業務を担当し、ユーザーに向けて通信販売や、バージョンアップのお知らせを行っています。

●品質管理部 ユーザーの方々にご満足いただけるよう、アスキーのソフトウェア製品を商品化する前に、ソフトウェアの動作テストやマニユ

ルの検査等を行い、品質管理を徹底しています。

●資材管理部 アスキー全製品の部材・資材の管理を行ういっぽう、完成した商品を最終的にチェックし、パッケージングしたうえで、市場に送り出します。

●業務部 営業本部全体の管理統括、業務システムの調整、営業本部全般にかかわる計数・データを管理しています。

●営業企画室 ソフトウェア営業全体にかかわる企画立案・調整を行います。また、開発部門との調整を行いながら、ソフトウェア商品の仕様発表や出荷計画を扱っています。



販売促進活動の一環として、全国の販売店の店頭デモ、ビジネスショウやアスキーフェアなどを企画・開催し、より多くのお客さまにアスキー商品に接し、ご理解いただけるよう努めています。
(写真 第65回 ビジネスショウ)



営業本部はアスキーとお客さまの接点。その活動のひとつとして法人から個人まですべてのユーザーの方々に満足していただけるようさまざまな講習会を開催しています。アスキーの商品をはじめとするソフトウェア利用の基礎から応用まで、個々のレベルに合わせたカリキュラムをご用意しています。

検索結果 --< (アスキー) date 880301 >--

[illegible]

●マーケティング本部

MARKETING DIVISION

高度情報化社会におけるアスキーの情報戦略の中心として、技術情報から顧客情報に至るまで、各種データベースを収集・管理。それらを有効に活用した、市場動向分析を基に商品企画、販促企画、広告宣伝、営業などの様々なプロジェクトを推進します。社内はもちろん、社外のクライアントの皆様に対して、トータルなマーケティング・サービスを提供しています。

●**宣伝部** アスキー全製品の販売促進・広告・宣伝業務を行います。各部門と協力し自社製品の販促企画の立案から、媒体広告の制作・管理・出稿、及び各種催事、プライベートショー・セミナー等の企画・運営・実施を行います。

●**市場開発部** 新しいコミュニケーション社会において、コンピュータがいかに社会に受け入れられるか—この課題のもとに、精度の高いユーザーデータベースの収集、独自の手法によるマーケティングリサーチから様々なビジネスプランニングまで、社内だけでなく多くのクライアントに対して、きめ細かなサービスを提供しています。

●**OEM営業部** 出版局テクライトを始めとする社内の各製造部門との協力体制のもと、マニュアル、ソフトウェア、パッケージOEM等を担当します。コンピュータメーカーへの営業・サービスを行っています。

●**アスキーカード事務局** アスキーのお客さまに対する新たなサービスとしてアスキーカードを発

行します。クレジットカードが本来持つ機能以外にアスキー独自のサービスを企画し、パソコンユーザーのライフスタイル全般への様々なサポートをいたします。

●**アスキーライブラリー** 「エレクトロニクス」をキーワードに、内外の文献・資料・図書・データベースを収集・管理。ライブラリーとして社内および関連各社にサービスを提供します。また収集した様々な情報をさらに整理・編集し、「ASCIIデイリーWatch」等の定期刊行物を社内向けに発行するなど、アスキーの情報活動の中核として、各事業部を積極的にサポートしています。



市場開発部より発行しているパソコンユーザーの調査報告書。ユーザー動向を的確に分析しています。

コンピュータ関連の雑誌約50誌のほか、書籍はもとより一般ビジネス書からファッション雑誌に至るまでをそろえたアスキーライブラリー。



●スタッフ部門

CORPORATE DIVISION

●財務部

業務の拡大につれて、よりきめの細かい財務分析や資金計画が要求されます。アスキー財務部では早期より、財務システムの電算化を実現し、経営面でのバックアップ体制を確立しています。

●経営管理室

人事グループ 若い企業アスキーにとって、組織づくりと人材育成は重要なテーマ。人事グループでは特に、「アスキー最大の財産は人である」との観点にたつて、個性的な人材の採用と意欲的で創造性豊かな社員の育成を行っています。

総務グループ 総務グループは社内の各部署が円滑に業務を遂行できるようにするための支援部門。固定資産、什器備品の購入とその管理・保全を行い働きやすい職場づくりを行っております。更に受付、電話交換業務を通じて好感の持てるアスキーのイメージづくりに努めています。

法務グループ コンピュータプログラムなど知的所有権に対する権利意識のたかまりとともに法律部門がますます重要となっています。法務グループでは各専門分野ごとに有力な法律事務所の助言を受けながら、無体財産の権利保護のため、工業所有権の登録申請を行うとともに、各種契約の締結にあたり各部署をきめ細かくサポートしていきます。

OA推進室 ミニコンピュータを使って、ATMS(社内業務システム)及びAIPC(社内情報システム)の開発・保守により、営業・財務部隊のサポートを行うと同時に、社内OA環境の整備・拡充も手掛けています。

●経営企画室

アスキーではワードプロセッサをはじめ新技術を応用したさまざまなオフィス機器を導入して、組織の急速な変化にも柔軟に対していけるようにしています。企画グループはインテリジェントオフィス開発のために、当社の新技術導入によるオフィス環境の構築を担当。新技術の性能や機能のみを追求するのではなく、組織の機能と新技術の融合を研究し、導入計画を計ります。さらにオフィス・ファシリティ・プランニングも行って、全社的に統一のとれたオフィス環境の提供を推進していきます。

●技術企画室

将来の技術動向をいち早く調査・分析し、アスキー全体の長期的技術戦略を練り上げる部門です。主に基礎技術研究分野で、官民一体となるプロジェクト等における立案、推進ならびに調査を行っており、経営企画室とともに明日のアスキーを描いています。

会社概要

資本金 39億2100万円
設立年月日 1977年（昭和52年）5月24日
社員数 459人

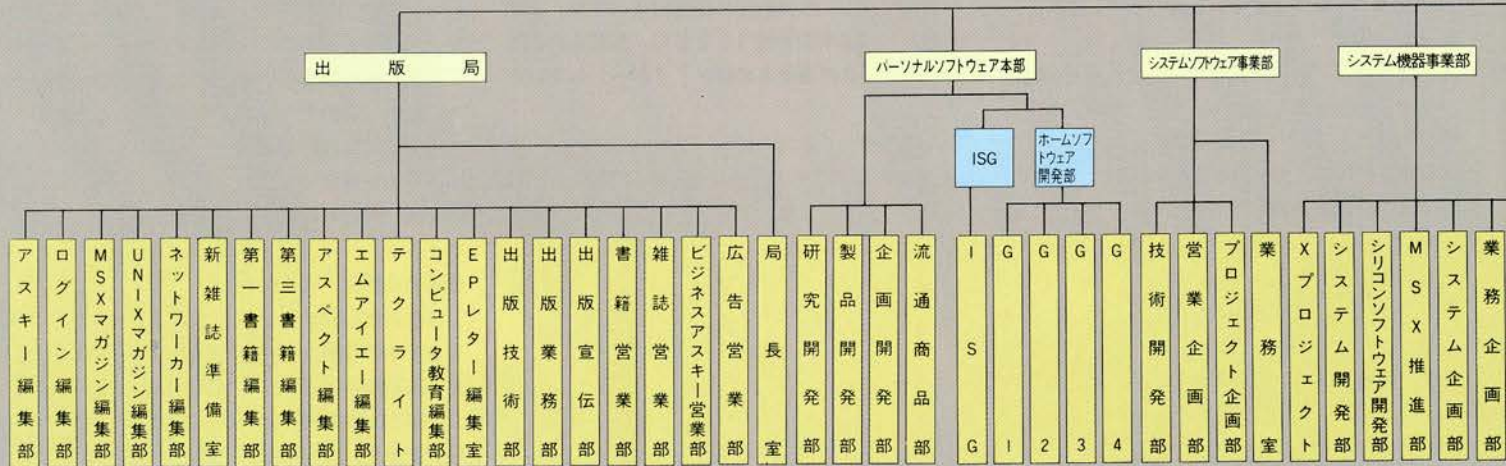
役員	代表取締役会長	郡司 明郎
	代表取締役社長	西 和彦
	代表取締役副社長、経営企画室長	塚本慶一郎
理事	常務取締役、パーソナルソフトウェア本部長	浜田 義史
	取締役	鈴木 豊
	取締役、システムソフトウェア事業部長	滝田賢太郎
	取締役、出版局長	藤井 章生
	取締役、営業本部長	吉村 昇
	取締役、システム機器事業部長	高橋 健一
	取締役、財務部長	藤木 正友
	取締役、経営管理室長	渡辺 洋
	出版局 副局長	西村 弘紀
	システム機器事業部 技師長	山下 良蔵
	技術企画室長	深瀬 弘恭
	出版局 ネットワーカー編集長	宮崎 秀規
	システム機器事業部 副技師長	石井 孝寿
	パーソナルソフトウェア本部 研究開発部長	宮崎 孝
	出版局 ログイン編集部 MSX 編集部 編集長	小島 文隆
	出版局 出版技術部 部門長	井芹 昌信
	システムソフトウェア事業部 技術開発部長	三浦 雅孝

本社 東京都港区南青山6-11-1
大阪支店 大阪府大阪市北区梅田1-11-4

取引銀行 富士銀行、日本興業銀行、安田信託銀行、協和銀行、
三菱銀行、三和銀行、住友銀行、太陽神戸銀行、
兵庫相互銀行、東京銀行、第一勧業銀行、三井銀行

DATA

組織図



関連会社

子会社

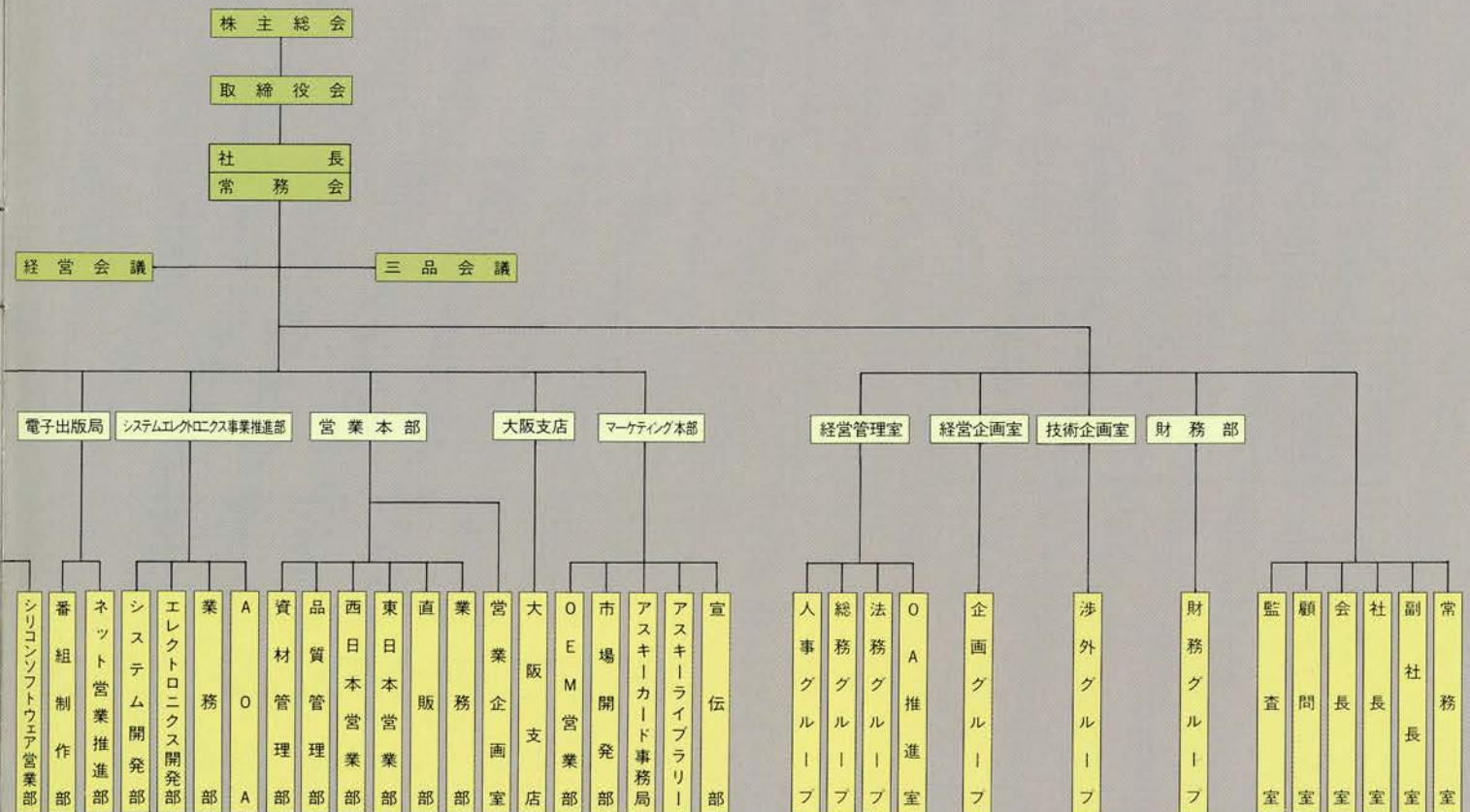
パーソナル通信放送ネットワーク企画株式会社
株式会社ビジネス・アスキー
株式会社エム・シー・エー
株式会社キーステーション

国内主要関連会社

株式会社ソフトウィング
株式会社トヨテック
ブイ・エム・テクノロジー株式会社
株式会社グラフィックス・コミュニケーション・テクノロジーズ
株式会社テレマティーク国際研究所

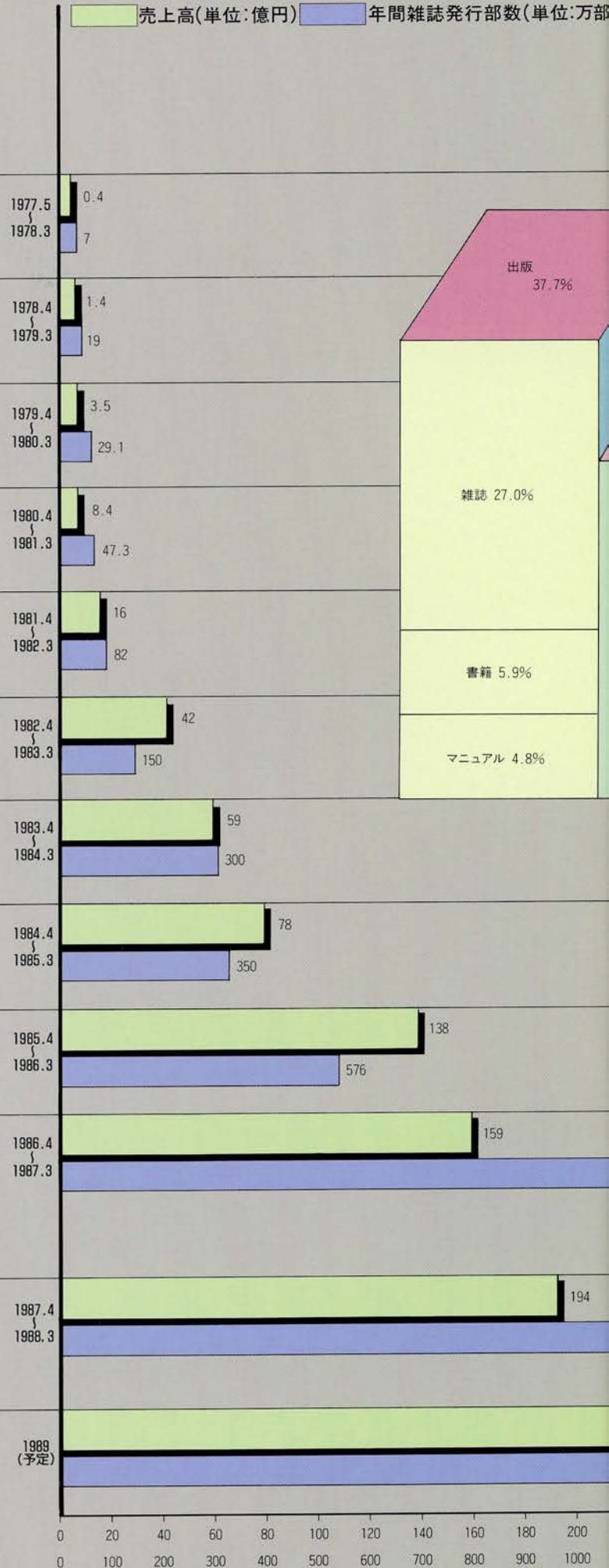
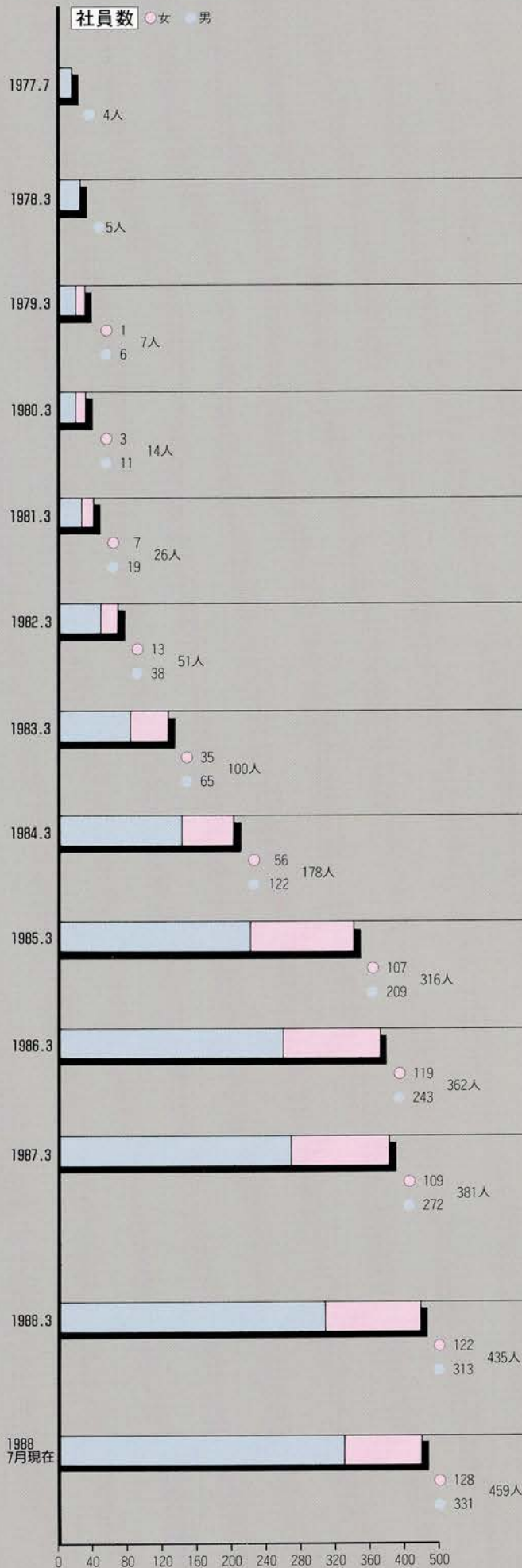
海外主要提携先

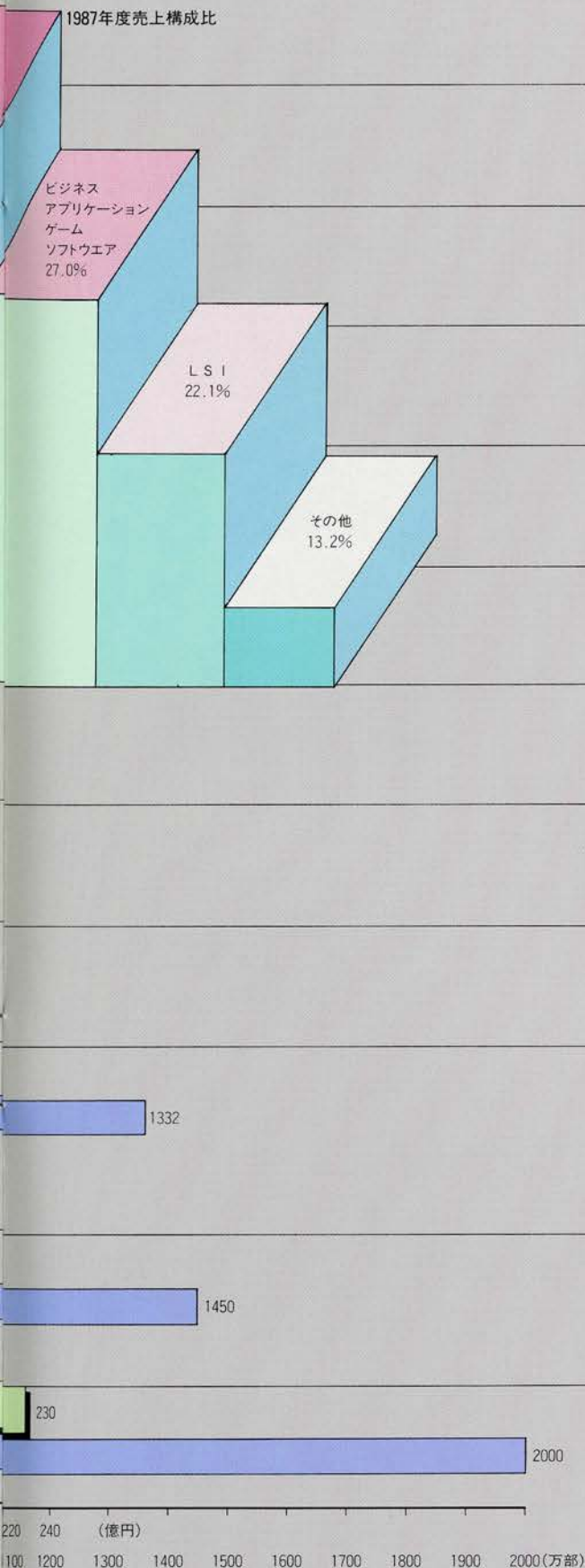
Addison-Wesley Publishing Company, Inc. (米国)
Chips and Technologies, Inc. (米国)
Daou Technology Inc. (韓国)
Diversified Growth Associates (米国)
EFA Corporation (台湾)
Graphic Software Systems, Inc. (米国)
Informix Software, Inc. (米国)
International Datacasting Corporation (カナダ)
Microsoft Press (米国)
NEXGEN Microsystems, Inc. (米国)
Sun Microsystems, Inc. (米国)
T & A (中国)
The Complete PC, Inc. (米国)
(ABC順)



社員数

売上高 年間発行部数





- 1977(昭和52)年 5月 東京南青山のマンションの一角 (ハイトリオ305号 港区南青山5-6-4)に株アスキー出版設立(資本金300万円)。
6月 月刊「ASCII」創刊。
- 1978(昭和53)年 10月 米国マイクロソフト社と提携。同社極東代理店として 株アスキーマイクロソフト設立。プログラム言語「BASIC」を日本に紹介。
- 1979(昭和54)年 3月 日本電気株発売の8ビット・パソコン「PC8001」の開発に協力。
4月 ソフトウェア開発部門「アスキーラボラトリーズ」設置。
12月 初のパッケージソフトを発売(PC8001用)。日本にパソコンブームをおこす。
- 1980(昭和55)年 11月 株アスキーコンシューマプロダクツ設立。オリジナルソフトウェア・パッケージの開発、販売開始。
- 1981(昭和56)年 2月 本社を瀬川ビル(渋谷区神宮前5-2-2)に移転。
3月 売上高8億4000万円。前年度比240%。
- 1982(昭和57)年 5月 月刊「ASCII」発行部数10万部を突破(1988年5月現在15万部)。
5月 月刊「ASCII」の別冊として「ログイン」を創刊。
9月 第1回朝日パーソナルコンピュータショウに企画協力。
11月 次世代OSとしての「UNIX」のサポートを開始。本社を住友南青山ビル(港区南青山5-11-5)に移転。
12月 株アスキー出版を株アスキーに社名変更。本社群に大規模LANを導入。
- 1983(昭和58)年 1月 MS-DOSのサポートを開始。
2月 パッケージソフト「Multiplan」を発売。ロングベストセラーとなる。
4月 株アスキーコンシューマプロダクツを株アスキーに併合、業務拡充をはかる。雑誌「ログイン」を月刊化。
6月 8ビット・パソコン統一仕様「MSX」を提唱。マウスを発売。
11月 月刊「MSXマガジン」を創刊。
- 1984(昭和59)年 2月 米国インフォミックスソフトウェア社と提携。「MSX」が'83年日経・年間優秀製品賞を受賞。
4月 株アスキーマイクロソフトを株アスキーに併合。
9月 日本楽器製造株(現在ヤマハ株)との共同開発によりビデオテキストシステム用LSI開発。
- 1985(昭和60)年 5月 「MSX」上位仕様「MSX2」を発表。アスキーネットワークの実験稼働開始。
7月 大阪営業所(大阪市北区梅田1-11-4)を開設。
9月 米国テップス・アンド・テクノロジー社へ出資、日本総代理店契約を結ぶ。
- 1986(昭和61)年 3月 マイクロソフト社との独占代理店契約を解消。
6月 隔週刊「ファミコン通信」を創刊。
7月 株ソフトウイングの設立に参加。
9月 月刊「ネットワークーマガジン」を創刊。
10月 月刊「UNIXマガジン」を創刊。
12月 ブイ・エム・テクノロジー株の設立に参加。
- 1987(昭和62)年 2月 株グラフィックス・コミュニケーション・テクノロジーズの設立に参加 (ISDNにおける高速動画通信システム研究開発)。(株)テレマティック国際研究所の設立に参加 (同、電子図書館システム研究開発)。
3月 アスキーネット有料化で実用サービス開始。
4月 第2世代の画像処理メモリ・LSI開発(日本電気株との共同開発)。
6月 米国サン・マイクロシステムズ社と提携。
9月 川崎市黒川地区に事業所建設予定地として、6600㎡の土地を取得。
10月 日本語AT互換機AX用グラフィックシステム「JEGA」開発。AX協議会に参加。
- 1988(昭和63)年 1月 パーソナル通信放送ネットワーク企画株を設立。パソコン通信システムの技術開発、管理運用開始。「UNIX」のアプリケーション開発に着手。
2月 日本電気株との共同開発による256Kビット画像処理メモリが、87年日経優秀製品・サービス賞を受賞。
4月 大阪営業所を大阪支店に昇格。
5月 「UNIX」環境の標準化機構であるX/OPENに日本ではじめて参加。
年内 MSXハード本体の出荷台数が世界で300万台を超える見通し。

出版事業

雑誌

ASCII
UNIXマガジン
ログイン
MSXマガジン
ファミコン通信
NETWORKER マガジン
EP News

書籍

パソコン関連技術書
OEM書籍
ビジネス関連書籍
各種マニュアル

ソフトウェア

MS-DOS SOFTWARE TOOLS 1
MS-DOS SOFTWARE TOOLS 2
ほか

アプリケーションソフトウェア事業

ワードプロセッサ

Z'sword JG
The Word
IDOQ
親指君 (OA word/98, OA Shift/98)
親指君おともだちシリーズ
日本語MSX Write II
日本語Micro TeX (DOS)

データベース

The CARD 2
The FILE
Technote

ビジネスグラフ

The GRAPH

グラフィックス

CANDY 3
Thirty
kid 98

通信端末ソフト

ESterm
CTERM

CAI

Hands ON
ディスクで学ぶBASIC
ディスクで学ぶMS-DOS
ディスクで学ぶC
ディスクで学ぶマシン語

ゲームソフト

囲碁
ウィザードリー
プロフェッショナル 麻雀吾空
アルギースの翼
ベストプレー プロ野球
ほか

システムソフトウェア事業

オペレーティングシステム

ASCII UX/4.3bsd
ASCII UX/4.2bsd (ハングル版)

コミュニケーション

AMTOS
JUCP

グラフィックス

GSS*DGIS
GSS*CGI
X/386
X-DOS Server

ネットワーク

ANASIS/Eシリーズ
日本語PC-NFS (ANASIS/PC-NFS)
TCP/IP (ANASIS/TCP/IP)

データベース

informix-SQL
informix-TURBO
informix-ESQL/C
informix-4GL
informix-NET
C-ISAM
informix Datasheet ADD-IN

アプリケーション/開発環境

Microsoft C-merge

端末ソフトウェア

nterm
Jterm

システム開発

メディカル・インフォメーション・システム
データ放送システム
オーダーエントリーシステム

システム機器事業

LSI

〈システムロジック〉
T7775 MSX-ENGINE
S3527 MSX-SYSTEM
S1985 MSX-SYSTEM II
CS8220 286AT CHIPSET (CT)
CS8221 NEAT (CT)
CS8230 386AT CHIPSET (CT)
82C100, 101 SUPER XT
82C206 IPC (CT)
82C307 CACHE CONTROLLER (CT)

CHIPS/250(CT) PS/2™(コンパチブル用) CHIPSET
CHIPS/280(CT) PS/2™(コンパチブル用) CHIPSET
82C605, 606 MULTI FUNCTION CONTROLLER(CT)
82C607 MULTI FUNCTION CONTROLLER(CT)
82C611, 612 MICRO CHANNEL INTERFACE(CT)

＜グラフィックス＞

V9938 MSX-VIDEO
V99C37 VIDEOTEX CO-PROCESSOR
V7000 シリーズ
V6355 LCDC
V6366 PCDC
V6367 JEGA

TMS34010 GRAPHICS SYSTEM PROCESSOR(TI)
CS8240 EGA CHIPSET(CT)
82C425 CGA(CT)
82C435, 436 SEGA BEGA(CT)
82C441, 442 VGA CHIPSET(CT)
82C451 VGA(CT)
82C452 VGA(CT) (CT)
82C455 VGA, FLAT(CT & ASCII)

＜通信＞

82C550A, 551 LAN(CT)
82C570, 574 3270 CONTROLLER(CT)
TMS380 CHIPSET TOKEN RING LAN(TI)

＜その他＞

Y8950 MSX-AUDIO
J3125 MSX-INTERFACE
TMS320シリーズ DSP(TI)
S3210 DSP INTERFACE

M6226Y CG ROM JEGA対応漢字キャラクタ・ジェネレータ
82C764A FLOPPY DISK DATA SEPARATOR(CT)
VM8600S バーチャルマイクロプロセッサ(VMT)

＜DOS, 言語, BASIC＞

MSX-BASIC 1.0
MSX-BASIC 2.0
MSX-DOS 1.0
MSX-DOS 2.0
MSX-C コンパイラ
MSX-C Ver.1.1
MSX-C ベーシック君
MSX-BASIC コンパイラ

＜通信＞

JUST-PC ファームウェア
JUST-PC/FAX ファームウェア
各種モデムソフトウェア
MSX キャプテン
MSX 文字多重
ISDN制御ソフトウェア
MSX-RS232C ソフトウェア

＜開発ツール＞

TMS34010 開発支援ソフトウェア
MSX-S BUG
MSX-C ライブラリ
MSX DOS TOOLS

回線エミュレータ

ROMエミュレータ

SDB9801(TMS34010開発支援ボード)

注●CT:Chips and Technorogies社製品 (アスキーは日本総代理店です。)

●TI:TEXAS INSTRUMENTS 社製品 (アスキーは日本TIの販売特約店としてTIの全半導体を取り扱っています。)

●VMT:ブイ・エム・テクノロジーズ社製品(アスキーはVMT社の特約店です。)

●PS/2™はIBMの商標です。

ネットワーク事業

ネットワーク

アスキーネットACS
アスキーネットPCS
アスキーネットMSX

センターネットワーク用ソフトウェア

UNIX-ASCII NET
OA-NET
ホスト/CD-ROM接続(予定)

システムエレクトロニクス事業

おっかけTel
VSAT
LAN関連商品
CD-ROM

マーケティング

アスキーカード
ASCII-PCIS 全国生活者調査
ASCII-PCIS パソコンユーザー調査
ASCII-PCIS パソコン事業所調査
ASCII-PCIS 流通調査
PCIS-REPORT
個別調査報告書

ASCII

ASCII CORPORATION

株式会社アスキー

〒107-24 東京都港区南青山6-11-1
スリーエフ南青山ビル

PHONE/03-486-7111 FAX/03-499-2146 TLX/J28754 ASCII